

2017年5月10日（水）「ビジネス実践研究Ⅰ（K）」（渡部順一先生）

当日授業では同窓会の歴史について長井祥子会長がお話をしました。この歴史を受けて庶務土門理事が同窓会の目的と仕組みについて説明しました。そしてメインである同窓会グッズについて事業部長庄子理事が説明をしました。90分の授業でしたが熱心にノートを取り質問もするなど実りある授業になったのではないかと思います。

《学生の皆さんの感想の抜粋です》

- ・宮城女学校の始まりから会長さんにとっても詳しくお話していただきました。そこから同窓会への発足のお話へとつながり現在の同窓会の活動や運営についても聞くことができたのでよかったです。
- ・同窓会のオリジナル商品についてのお話しでは、私たちがこれから商品開発を行っていく上での大切なことをたくさん学ぶことができました。
- ・本日の講話では会長さんから改めて宮城学院の歴史を聞くことができ大変勉強になりました。
- ・加えてビジネスのお話しということでグッズの企画・製作・販売までの経緯を詳しく学ぶことができたので、自分たちのこれからの活動に生かしていきたいと思いました。

90分という短い時間でしたが、学ぶことが多くあり大変有意義な時間になったと感じています。

- ・宮城学院同窓会の方々のお話を聞けることはなかなかないことなので、同窓会の仕組みや宮城学院の歴史、記念品づくりのことなど聞けて貴重な経験となりました。お話をしてくれたみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。

《渡部順一先生より》

5月10日（水）、現代ビジネス学科学生7名と共に、「ビジネス実践研究Ⅰ(k)」の授業の一環として、宮城学院同窓会を訪問しました。長井祥子会長、土門比呂子理事、庄子美和理事より、同窓会の理念などを拝聴し、その後、同窓会グッズについて、商品を間近に見ながら説明を受けました。本授業は「女性起業家輩出のプログラム」と位置付けており、今回の訪問は、大先輩からの話しということで、学生の関心も高く、質問や写真撮影を行うなど有意義な時間となりました。

今後も教育、並びに、研究に支援を受けていきたいと考えています。



2017年5月29日(月)「特別研究A(観光地研究)」(宮原育子先生)

宮城学院女子大学、一般教育特科目「特殊研究A(観光地研究)」の授業で軽井沢山荘の運営に携わった同窓生が授業をしました。

講師は、長年山荘運営委員を務め、山荘の運営、維持管理に尽力された元会長の岩井陽子様、夏休みにボランティアとして1ヶ月以上も住み込んで山荘を訪れるお客様の食事、お掃除、洗濯、買い物などを取り仕切った佐藤美千代様。岩井元会長のお話からは山荘の様々な出来事や、歴代の同窓生がリンゼイ、ハンセン先生の山荘を大事にしてきたことが伝わって、学生も感激していました。佐藤美千代様は現地の方々が宮城学院を評価してくれることに、MG生の誇りを感じたと話して下さいました。山荘の歴史、運営に携わった同窓生の深い母校愛とバイタリティー、軽井沢の人達との交流など、多岐にわたる内容でした。

《学生の皆さんの感想の抜粋です》

- ・ハンセン先生・リンゼイ先生のことや、当時の苦労や出来事など貴重なお話を直接聞くことができとても良い機会だった。
- ・今の宮学生にもこの話を聞いてもらった方がよいのではないかと思った。
- ・ますます軽井沢への興味が湧きました。先輩方の努力や思いの強さが素晴らしくて誇りに思います。
- ・山荘を守り抜いてきた人たちに感動した。
- ・色んな人たちの努力があってこそ、宮城学院があるんだなと思うと本当に誇らしい気持ちになりました。

《宮原育子先生より》

5月29日(月)に大学の講義へご協力を賜り、誠にありがとうございました。

岩井元会長と佐藤美千代様の軽井沢山荘に関するお話は大変興味深く、また、宮城学院の歴史と当時の学生さんたちの熱い心に直に触れることができた貴重な時間となりました。学生ともども心よりお礼申し上げます。

学生たちは大学の歴史を誇りに思いながら勉学や活動に励めるといいなと思っています。これからも資料の整理、掘り起こしを進めていきたいと思いますので、ご協力方、よろしくお願い申し上げます。

